コネクタガイド

レモ　プラグ　パーツナンバ　解説書

レモジャパン株式会社
〒108-0073
東京都港区三田2-7-22
tel: 03-5446-5513

HP　www.lemo.co.jp
E-mail:info-jp@lemo.com

前書

このガイドは　パーツナンバーが不明なレモのプラグの　正しいパーツナンバーを見つけるための解説書です。これにより、レモのプラグの正しいパーツナンバーを特定する基本的ステップが解り、最も適したレモのコネクターを選択することができます。この書類に載っていない製品を見つけるには、レモのウェブサイト http://www.lemo.com、もしくは、カタログをご覧ください。お使いになるケーブルまたは、ケーブルのサイズが判っていると正確に選定ができます。もっと詳しくお知りになりたい場合、または複雑なモデルをお使いの際はレモジャパン営業部（03-5446-5513）にお問い合わせください。

早く知るには

プラグがかんごうする相手のパーツナンバーをお知りになりたい場合は、レモのウェブサイトにあるパーツナンバーサーチ機能をお使いいただくのが　簡単で早い方法です。ＨＰを開き、その上で、“製品の詳細”ページの“Find Mate”をご覧ください。

ステップ

1　**プラグがレモの正式製品かどうか見分ける**

B/K/Eシリーズにはレモ特有の板チョコレート状のブロックパターンがあります
Sシリーズにはギザギザの帯があります

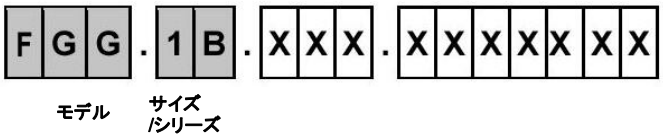
板チョコレート状のブロックパターン

ギザギザの帯

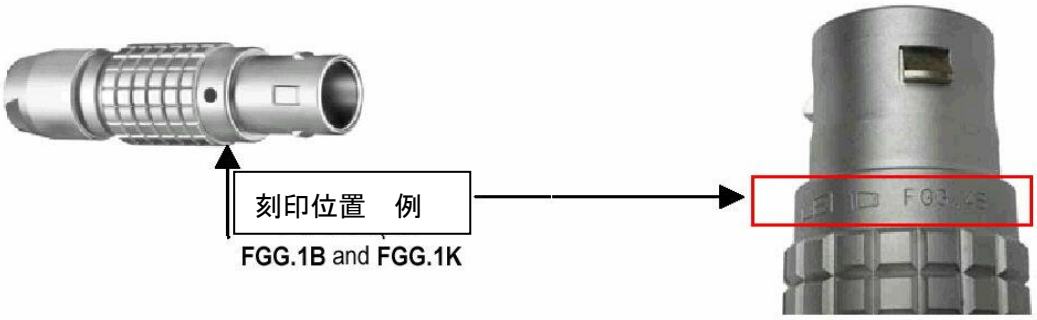
レモ製ではない類似プラグの例　（これらの類似品をレモのソケットと組み合わせて使用すると問題が発生することがありますのでご注意ください）

このステップでレモの製品であることが確認し、次のステップに進んでください。

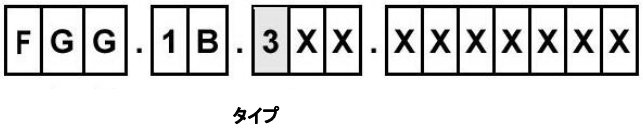
2　モデル、サイズ、シリーズを見分ける（１桁-５桁）



レモ社のプラグにはシェルの形状によって、適合するモデル、サイズ、シリーズがあります。例えば：FGG.1B.（ 3 番目の文字はキーを示します。）の’G’は最も一般的ですが、他のキー構成もお使いいただけます。（カタログをご参照ください）

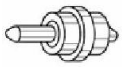


3　インサートとコンタクトのタイプを見分ける（６桁目）



インサートとコンタクトのタイプを見分けるには、プラグのノーズの部分をご覧ください。

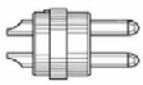
シングルコンタクト　単極の電気コンタクトであったなら、それは低電圧ピン、同軸、３軸、高電圧コンタクトのいずれかです。
更にこれらのインサートとコンタクトのタイプを特定するには同軸コンタककトガイドをご覧ください。
最も一般的なシングルピンコンタクトである’低電圧’ピンでは製品番号の 6 番目の桁に’1’の番号がはいります。同軸コネクタの場合は’2’が、高電圧（アンチクリープススペーサ付）の場合は’4’が、トライアックスの場合は’6’が入ります。



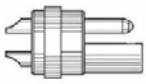
シングルピン

同軸

マルチコンタクト　多極であれば、低電圧、同軸、3 軸、高電圧、ファイバーオプティック、もしくは これらのコンビネーションのいづれかです。最も一般的な多極コネクタである低電圧ピンの場合は製品番号の 6 番目の桁に”3”の数字がはいります。



2ピン、Bタイプインサート



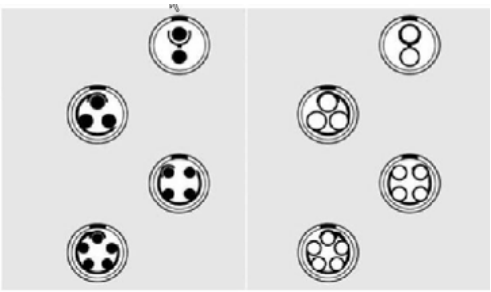
オスメス共存、Sタイプインサート

4.　インサートとコンタクト構成を見分ける　（７，８桁目）

F	G	G	.	1	B	.	3	0	5	.	X	X	X	X	X	X	X

６桁目の特定ができれば（上記の例では３）、今度は次の 2 つの数字（７，８桁目）を特定します。低電圧の構成の場合では、ピンの数を数えてウェブサイトページのパーツナンバーの説明のページまたは、ステップ2で特定したシリーズのカタログを見て、そこにある’タイプ表’にて調べてください。表の例は下記に記してあります。これはマルチピン低電圧インサートの 5 ピンは’タイプ’305 です。

1B



参照パーツナンバ	コンタクトの数	コンタクト直径(mm)	コンタクトの種類				ハンダ		クリンプ		
			ハンダ	クリンプ	プリント基板(ストレート)	プリント基板(エルボ)	試験電圧(kVrms)1) コンタクト-コンタクト	試験電圧(Vrms)1) コンタクト-シェル	試験電圧(kVrms)1) コンタクト-コンタクト	試験電圧(Vrms)1) コンタクト-シェル	定格電流(A)1)
302	2	1.3	●	●	●	●	1.50	1.35	1.70	1.45	15.0[3]
303	3	1.3	●	●	●	●	1.30	1.55	1.60	1.85	12.0
304	4	0.9	●	●	●	●	1.35	1.45	1.70	1.80	10.0[2]
305	5	0.9	●	●	●	●	1.25	1.15	1.30	1.55	9.0[2]

5.　シェル素材を見分ける　（９桁目）

FGG.1B.305.CXXXXXXX

シェル素材

９番目の桁ではシェルの素材を表しています。最もよく知られているシェル素材はつや消しクロムメッキの真鍮で、”Ｃ”の文字で示されます。酸化アルミ合金は”Ｌ”の文字で示されるように　ここを選択によって代えられます。詳細及びシェル素材コードは、レモのウェブサイト及びカタログのパーツナンバーの説明のページに載っています。

6.　インサートの素材を見分ける　（１０桁目）

FGG.1B.305.CLXXXXXX

インシュレーターの素材

10 番目の桁ではインサートのインシュレーター素材を特定しています。最も普通なインサートの素材は’ＰＥＥＫ’プラスティックです。色は薄いベージュで、’Ｌ’（またはＹ）の文字で示されます。同軸インサートはほとんどがテフロン製です。白色で、”Ｔ”の文字で示されます。他のインサート素材も使用できますので、カタログの表をご覧ください。素材を確定できない場合はレモにお問い合わせください。

7.　端末処理を見分ける（１１桁目）

FGG.1B.305.CLAXXXX

端末のタイプ

11 番目の桁では端末のタイプ（コンタクトのタイプ）が示してあります。端末がハンダの場合にはタイプ”Ａ”です。クリンプ接続の場合は”Ｃ”です。Ｂシリーズでは、リバースセックス構成（逆芯、オスプラグに対してオスでなくメスコンタクトを実装）用にメスハンダピンのタイプ”Ｌ”またはクリンプタイプ”Ｍ”があります。（備考：この場合、特定のキーが指定されることもあります。例えばリバースセックスコネクタ用専用のＪキーです。ステップ 2 をご覧ください。）

8.　コレットのサイズとタイプを見分ける（１２桁目）

F G G . 1 B . 3 0 5 . C L A D 5 2 ?

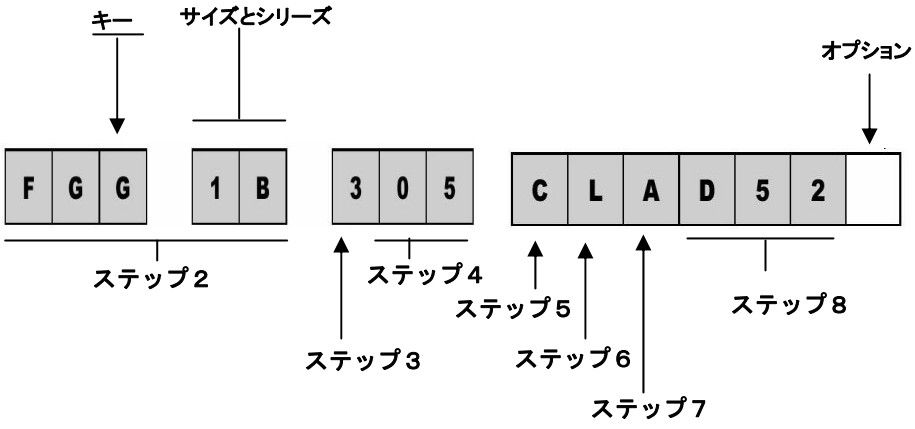
コレットのサイズ

コレットのサイズを確定するためにケーブルの直径を測ってください。カタログのコレット表をご覧になって、ステップ２で確定したようにサイズとシリーズを適切な表からみつけてください。ケーブルに一番合った最大、最小寸法を見つけ、ケーブルに一番合った’参照タイプ’を探してください。
コネクタがケーブルに接続されていない場合は、サイズを決めるため、コレットの内側の直径を測ってください。

末尾の桁の文字（？）はオプション（ベンドリリーフ等）により決まります。通常のモデルの場合にはこの１２桁目は使用しません。

	参照コード		コレット直径		ケーブル直径		コレットパーツ番号
	タイプ	呼び直径	A	B	最大	最小	
1B	M	27	2.7	–	2.6	2.2	FFC.00.727.CN
	M	31	3.1	–	3.0	2.6	FFC.00.731.CN
	D	42	4.2	–	4.0	3.1	FGG.1B.742.DN
	D	52	5.2	–	5.0	4.1	FGG.1B.752.DN
	D	62	6.2	–	6.0	5.1	FGG.1B.762.DN
	D	72	7.2	6.7	7.0	6.1	FGG.1B.772.DN
	D	76	7.6	6.7	7.5	7.1	FGG.1B.776.DN 3)

9.　レモのプラグのパーツナンバーの構成の要約



2021.1.Co.G.Plug